科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
グループダイナミックス	３年次　後期	必修	講義	１単位（１５時間）	五十嵐　透子

授　業　概　要

“看護”は、1対1のケアのみならず、集団を対象に展開することもある。またその実践においては組織内外のさまざまな職種あるいは組織との協働が不可欠である。

本講義では、これらの基礎となる“グループ”に関する理解を臨床心理学の視点から深め、効果的なグループ活動の実践ならびにグループ内での自己理解と行動を豊かにするコミュニケーションに関し教授する。

なお、“グループ・ダイナミクス”の効果的活用におけるリーダーの役割やあり方とメンバーの積極的参加に関しては、小グループでの活動を通して体験的学習を含める。

到　達　目　標

１．グループに関するさまざまな要因と理論を理解し、グループ活動を効果的に進める基礎を習得する
２．看護学におけるさまざまなグループとチームの活動を理解する
３．効果的なグループ活動をグループ・メンバーやリーダーとして体験し、自己理解を深める

実務経験のある教員

回	学　習　内　容	担当教員
1	グループとグループ・ダイナミクス “看護”領域におけるさまざまなグループ	五十嵐　透子
2	ストレスと対人関係、ニーズ論 バイオ・サイコ・ソーシャル・モデルとシステム論 機能的対非機能的グループ	
3	グループの種類とリーダーシップ、ファシリテーター	
4	グループで行われる心理教育	
5	問題中心対解決志向的かかわり	
6	協働と連携	
7	カンファレンス・コンサルテーション・リエゾン活動	
8	チームでの実践：ためこみ症 まとめ	

学　習　方　法

主として講義を行うが、ペアやグループでの活動も用いる。

評　価　方　法

〔評価方法〕
講義ごとのミニ・レポート

先　修　科　目

なし

教科書、参考書

〔教科書〕
五十嵐 透子（2020）。ヘルスケア・ワーカーのためのこころのエネルギーを高める対人関係情動論　2版
“わかる”から“できる”へ　医歯薬出版

他、配布資料